

ひとくらす(福島県石川町)

旧中谷第二小学校利活用事業

作成時点：令和 8 年 3 月

学校

宿泊施設等

基本情報



位置図

福島県石川郡石川町中田八又396-1



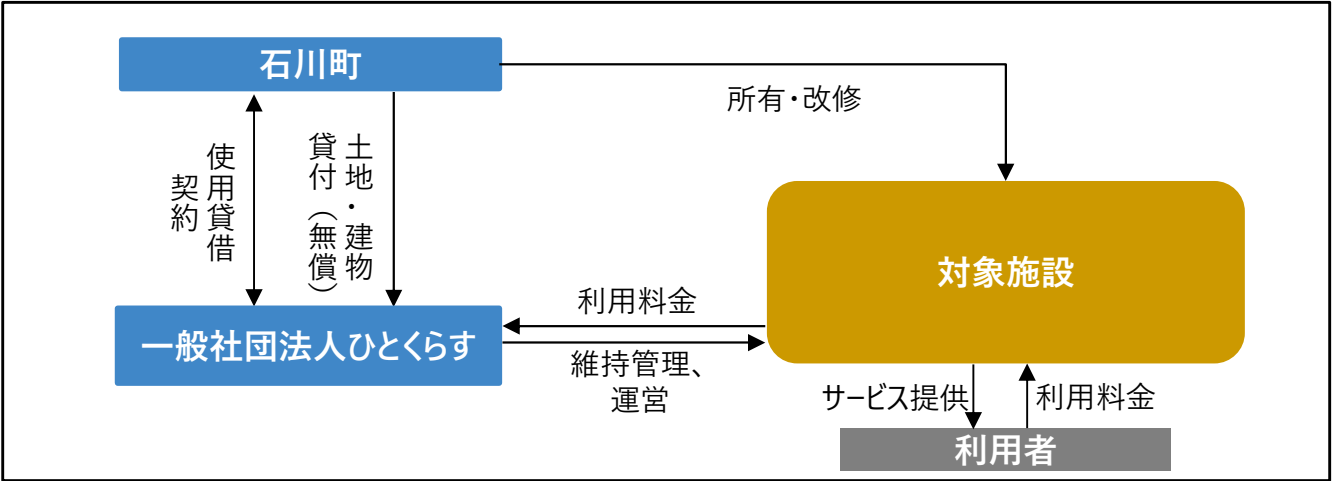
電子国土基本図（国土地理院）を加工して作成

掲載内容
に関する
問合せ先

石川町 企画商工課 企画係
TEL：0247-26-9114
Email：kikaku@town.ishikawa.fukushima.jp

事業主体	福島石川郡県石川町（人口：13,344人 ※令和 8 年 2 月現在）
事業手法	使用貸借
民間事業者の 業務内容	・運営業務（宿泊施設、シェアオフィスの運営、農業・林業体験事業の実施） ・維持管理業務（施設の保守・点検、清掃等）
事業期間	約 5 年間（令和 3 年 1 月～令和 8 年 3 月）
事業費等	・改修費 約106百万円
活用した 補助金	・地方創生拠点整備交付金 約53百万円
事業者	一般社団法人ひとくらす（市内企業）
事業経緯	・平成24年 9 月 議会にて小学校の閉校が決定 ・平成26年 4 月 利活用検討委員会の設置・検討の開始 ・平成27年 3 月 閉校・利活用検討委員会の検討終了 ・平成27年12月 一般社団法人ひとくらす設立 ・令和元～2 年 施設改修工事・用途変更 ・令和 2 年12月 使用貸借契約締結 ・令和 3 年 4 月 供用開始

事業スキーム図



ひとくらす(福島県石川町)

作成時点：令和8年3月

学校

宿泊施設等

検討経緯

- 平成24年9月に策定された町立小・中学校統合計画において、平成27年3月末での旧中谷第二小学校の閉校が示された。その後、平成26年4月に地元行政区が廃校利活用検討委員会を立ち上げて廃校後の活用について議論を開始した。しかしながら、閉校のタイミングでは具体的な方針決定には至らぬまま、委員会は解散となった。
- 閉校後、平成29年12月に検討委員会の元メンバーを含む地元有志7名が一般社団法人を設立し、運営候補者をして名乗り出た。その後、同法人では全国の優良事例の視察や実証実験などを重ねたうえで、町に対して利活用方針案を提案し、町から正式に運営組織として認定された。
- 令和元年～2年に町で改修工事を実施、同法人に施設を無償で貸与、令和3年4月にひとくらすが開業した。

取組のポイント

- 安定的な収益が確保できるレンタルオフィスと、収益性は高くないものの町外から多くの来訪者を呼び込むために必要となる宿泊機能をあわせ、事業全体のバランスを確保。
- 町の魅力発信や施設への誘客の観点から、町の主要産業の一つである林業の体験も事業の一つに位置付け、木造校舎活用との相乗効果の創出が図られている。空間づくりにおいても木造をいかしたぬくもりのある空間づくりが目指されている。
- レンタルオフィスの入居審査基準として、地域への貢献、女性の活躍、子育て・福祉・教育との関連性など7つの項目を設定し、2項目以上合致することを求めている。
- 施設のホームページ上で二地域居住者をターゲットにしている旨を明確にしている。

得られた効果

- 町内には、お試し移住者用の宿泊施設やワーケーション施設等が設置されておらず、本施設は石川町を一つの拠点とする二地域居住者の重要な受け皿となっている。
- 本施設のリピート利用者で何度も町を訪れていた人が、後に地域おこし協力隊となった例もあるなど、町の関係人口、移住者の創出に貢献している。
- リピーター等の関係人口のほか、元小学校という特性を生かし、地域のサロンやグラウンドゴルフ利用などの町民利用も受け入れており、町内外の交流拠点となっている。

施設HP：<https://hitokurasu.or.jp/>

■ 利活用前



写真出所：石川町提供



■ 利活用後

